

吉津地域実質化された京カ農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)		当初作成年月	更新年月
宮津市	吉津	須津東、須津西	令和2年3月	令和4年3月

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	30.10 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	24.11 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	6.31 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	6.31 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.40 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.40 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

課題

当地域は、主としてほ場整備済みの農地で農業を営む須津東集落と未整備で不成形の水田等が大部分を占める須津西集落に大別される。

このうち、須津東については5～10年後に規模縮小を見込む経営体の耕作面積が約2.5haあるため、新たな農地の受け手の確保・育成のほか、現状の担い手が営農を継続できる環境を整える必要がある。

一方、須津西については農地の形状と土性等から大きくは3区域に分別され、そのうち集落に隣接する区域は水捌けの悪い水田が大部分を占め、高齢化と鳥獣被害に伴って荒廃化・耕作放棄農地が多く、現状の耕作者も数名である。

さらに、残り2区域についても、公共施設整備や荒廃化による農地の半減や耕作者の高齢化に伴い規模縮小を検討する農業者など、将来にわたり須津西集落における農地利活用による活性化は難しく思われるため、先行プランを実行する須津東集落と統合して多様な地域活性化を模索したい。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

規模拡大意向のある若手農業者への集積を進めるとともに、畦畔等の雑草管理(草刈り)や補完農作業を支援する援農体制を検討し、担い手農家の労力分散(支援)による面積拡大と集約を推進する。